

地球温暖化に対応した 中小企業の長期的な戦略経営の方向を探る

今年2010年、世界全体で生じている異常気象は、従来に無い厳しい現実を人類社会に突きつけているとも見られます。2050年までに経済先進国に求められる温室効果ガス80%削減の目標達成は、今や、人類文明の存続に必須の条件と認識されるようになって参りました。

こうした状況に対して多くの国々が対応を急いでおりますが、特に近年、急速に力を着けつつある中国や先進国入りした韓国の積極的な取組は、目を見張るものがあります。これらの国々は、自国の産業に地球温暖化の緩和や適応に必要な力を着けさせることで、ビジネスの分野でも優位に立とうとする長期的な国家戦略の意図が明らかです。長引く不況の中で体力が弱ったわが国の中小企業が、アジア諸国の産業の力が高まってきている現状に手をこまねていることは、一層の苦境に追い込まれるものと危惧されます。

そこで環境経営学会は、地方の中小企業が地球の温暖化問題を正面から受け止め、これへの対応を戦略的に展開して行くには如何なる経営の方向があるかについて、皆様と検討するシンポジウムを企画致しました。

鳥取をはじめ山陰・中国地方の中小企業の関係者の方々が、地球温暖化問題に取り組むわが国の専門家を交えて、地球温暖化に対応する経営戦略を改めて共に考える機会としていただければ幸いです。

2010年11月20日(土)15:00~18:00 鳥取環境大学学生センター二階 多目的ホール

主催:特定非営利活動法人環境経営学会 共催:鳥取環境大学

後援:鳥取県、鳥取商工会議所、鳥取県中小企業団体中央会

~プログラム~

14:30~ 受付

15:00~ 開会

開会挨拶

来賓挨拶

趣旨説明

15:20~15:30

環境経営学会副会長/鳥取環境大学教授 木俣 信行

第I部 基調講演

15:30~16:00 中小企業のカーボン・マネジメントの実態と課題

ニッセイ基礎研究所 上席主任研究員(環境経営学会 理事) 川村 雅彦

16:00~16:30 ISO26000 いよいよ発行ー進むアジア諸国の対応

帝京大学 経済学部 教授(環境経営学会 理事) 青木 修三

第II部 パネルディスカッション

16:30~18:00

地球温暖化とこれに伴う産業環境の変化に 中小企業は如何なる対応の方向があるか

【パネリスト】(五十音順)

◇ 上記 青木 修三

◇ 上記 川村 雅彦

◇ 鳥取県中小企業団体中央会 会長 常田 禮孝

◇ 鳥取県生活環境部環境立県推進課 課長 寺坂 和利

◇ (有)オールエンジニア・サービス 代表取締役 橋本 来

【モデレータ】

◇ サステナビリティ日本フォーラム 代表理事(環境経営学会 理事)後藤 敏彦

【参加方法など】

入場無料。申込み(お名前、連絡先)先着順。定員(200人)になり次第、締め切らせていただきます。

【事前申込み・問合せ先】

鳥取環境大学環境情報学部

TEL/FAX:0857-38-6778/6472 Email: x-fu@kankyo-u.ac.jp

特定非営利活動法人環境経営学会 TEL:03-6272-6413 FAX:03-6272-6414 Email: smf@smf.gr.jp